

都市再生整備計画 事後評価シート
中心市街地城まち地区

平成24年3月

和歌山県和歌山市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	和歌山県		市町村名	和歌山市		地区名	中心市街地域まち地区			面積	186 ha	
交付期間	平成20年度～平成23年度		事後評価実施時期	平成23年度		交付対象事業費	611.2	国費率	0.445			
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名									
			基幹事業	道路(本町線)、高質空間形成施設(和歌山市駅前線、城北51号線、雄湊2号線、和歌山城西堀端)								
	当初計画から削除した事業		提案事業	地域創造支援事業(1日周遊バス切符発行事業、和歌山城各御門ライトアップ事業、地場特産品整備事業、和歌山城再建50周年祭事業、空き店舗対策事業)、事業活用調査(賑わい調査事業)								
			事業名		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
	基幹事業	なし	-			-						
提案事業	なし	-			-							
新たに追加した事業		基幹事業	道路(和歌山市駅前線)、公園(岡公園)、地域生活基盤施設(JR和歌山駅西口)	和歌山市駅前線:老朽化が激しく安全性やイメージ悪化を招いているため 岡公園:和歌山に隣接した当公園を地域に根ざした交流拠点とし、さらには和歌山城への集客へつなげるため JR和歌山駅西口:観光地や公共交通機関等の情報を掲載した総合案内板を設置し、来街者の利便性を向上させ、回遊性を向上させるため			影響なし					
		提案事業	地域創造支援事業(野外アートプロジェクト事業、岡公園茶室改修事業)	野外アートプロジェクト事業:交通拠点であるJR和歌山駅から和歌山城のある中心市街地の中心部に人を回遊させ、まちの賑わいをつくるため 岡公園茶室改修事業:和歌山に隣接した当公園を地域に根ざした交流拠点とし、さらには和歌山城への集客へつなげるため			影響なし					
交付期間の変更		当初	平成20年度～平成23年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
		変更	-	-								
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
	指標1	空き店舗数	店舗	62	H19	54	H23	76	△	あり なし ●	目標値を下回ったものの、空き店舗対策の浸透により、近年の出店希望者が増加傾向にある。	平成25年4月
	指標2	居住人口	人	11,268	H18	11,680	H23	10,902	△	あり なし ●	目標値を下回ったものの、けやき再開発等により、当初予期していた居住人口の自然減を抑える事ができた。	平成25年4月
指標3	通行量	人/日	1,638	H19	2,000	H23	1,856	△	あり なし ●	目標値を下回ったものの、旧丸正ビル再開発等により、通行量の増加につながった。	平成25年9月	
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
	その他の数値指標1	手づくり市場出展区画数	区画/回	-	-	/	96	/	/	野外アートプロジェクト事業により、手づくり市場、また定期的を実施している音楽イベントが定着し、出展区画数の増加に結びつき、賑わいが創出されている。	平成25年6月	
	その他の数値指標2	本計画により建設した新規住宅数	戸	0	H18	/	119	/	/	けやき大通り第一種市街地再開発事業、十番丁共同住宅・事務所複合ビル建設事業により、新規に住宅を提供できるようになり、中心市街地の居住促進に結びついている。また、入居者の各拠点の利用が期待される。	-	
その他の数値指標3	城まちeco観光レンタサイクル利用者数	人/月	-	-	/	870	/	/	高質空間形成施設事業の道路・歩道・街路灯整備事業等により、自転車に乗りやすい空間が整備され、貸出数増加につながっている。これは本計画により整備を行った各拠点等への回遊に結びついており、回遊性向上に寄与している。	平成25年9月		
4) 定性的な効果発現状況	道路・歩道整備により、バリアフリー化が図られるとともに、街の景観向上に寄与した。街路灯設置により、夜間でも「安心・安全な環境である」という心理的な安心感が高まった。											
5) 実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等	
	モニタリング	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-	
	住民参加プロセス	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-	
	持続的なまちづくり体制の構築	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-	

様式2-2 地区の概要

中心市街地城まち地区(和歌山県和歌山市) 都市再生整備計画事業の成果概要

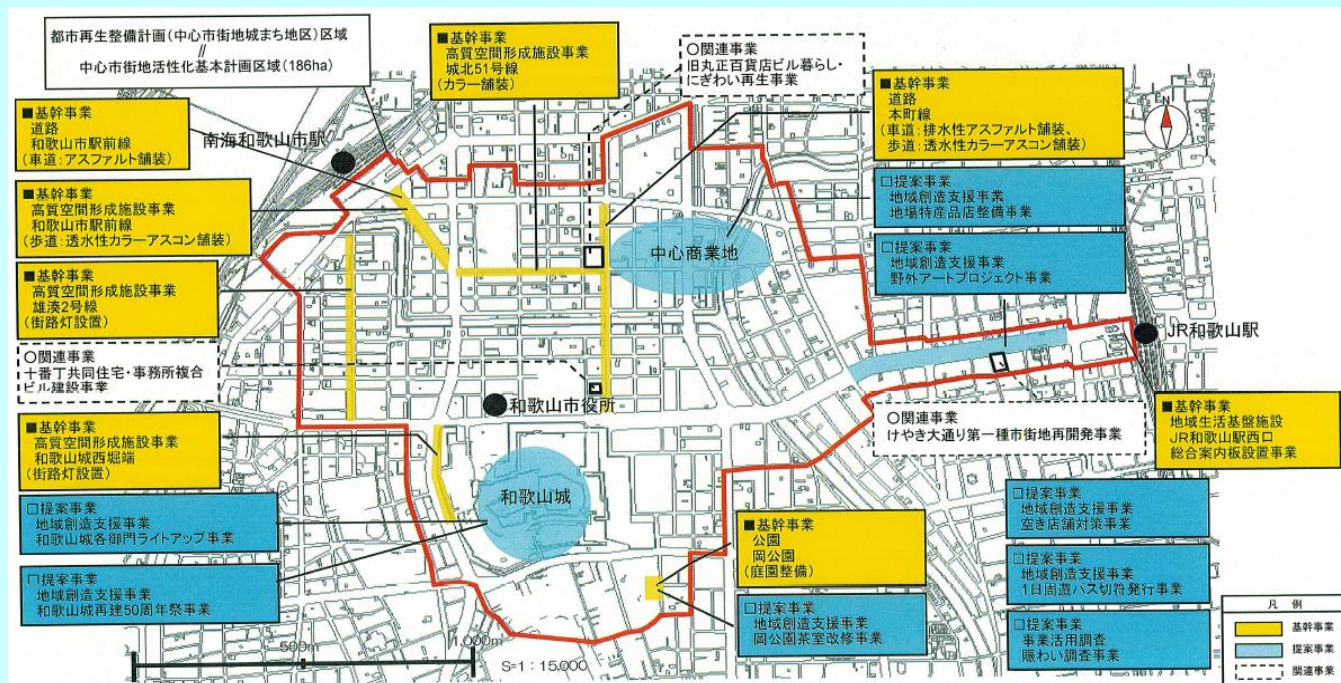
まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
○歩いて暮らせる賑わいあふれる城まち 目標1: 城まち賑わい拠点の創出 目標2: 城まち居住の促進 目標3: 城まち回遊性の向上	空き店舗数	単位: 店舗	62 H19	54 H23	76 H23
	居住人口	単位: 人	11,268 H18	11,680 H23	10,902 H23
	通行量	単位: 人/日	1,638 H19	2,000 H23	1,856 H23
	手づくり市場出展区画数	単位: 区画/回	-	-	96 H23
	本計画により建設した新規住宅数	単位: 戸	0 H18	-	119 H23
	城まちeco観光レンタサイクル利用者数	単位: 人/月	-	-	870 H23



(基幹事業)
高質空間形成施設事業
和歌山城西堀端(街路灯設置)



(関連事業)
旧丸正百貨店ビル暮らし・にぎわい再生事業



(提案事業)
野外アートプロジェクト事業



(提案事業)
和歌山城各御門ライトアップ事



(提案事業)
岡公園茶室改修事業

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗対策の支援範囲が商店街以外の中心市街地にも適用されたこともあり、商店街以外の中心市街地でも出店希望者が増加している。今後は出店者を増加させるだけでなく、空き店舗の活用方法を検討する必要がある。 ・歩道や道路の整備、また街路灯の設置により、住民から強い要望のある安心・安全な環境を形成した。さらに安心・安全性を高めるには本計画による整備場所以外の道路・歩道・街路灯の整備が考えられる。 ・総合案内板、けやき大通りのフリーマーケット、公園整備等の実施により、和歌山城等の各拠点へ人が流れる仕組みを形成したが、さらなる回遊性の向上を図る必要がある。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<p>本計画事業の効果を持続させるためには、安心・安全な環境の維持整備として街路灯定期点検といった設備管理事業、回遊性の持続として現在実施している回遊性向上事業の継続・再検討が想定される。未達成目標の達成、未解決課題解消の改善策としては、中心市街地の拠点活性化のための空き店舗対策事業・市街地再開発事業、安心・安全な環境整備のための基盤整備として道路事業、さらなる回遊性向上のためのイベント実施、案内板内容充実のための整備事業が想定される。</p> <p>なお、本市では、平成19年に内閣総理大臣に認定された中心市街地活性化基本計画が今年度で終了する。計画の継続は行わないが、賑わいに寄与できている等、有効な事業を検討し、今後も中心市街地の活性化を継続していく。また、新事業も実施していく予定。</p>